

・防災・業務継続計画(略称:多元研等BCP)第4版ダイジェスト版 2023年3月

多元研等BCPは、多元物質科学研究所、国際放射光イノベーション・スマート研究センター(SRIS)及び産学連携先端材料研究開発センター(MaSC)の教職員、学生、業務委託による警備・清掃の請負者や派遣職員、来訪者、入居者並びに施設・設備へ適用する。

構成員の災害発生直後の対応・心構え

- (1) 災害が発生した場合は、全ての実験、研究等を速やかに中断し、自分自身の安全確保に努め、速やかに指定の避難場所(建物別)に避難する。
- (2) 火災等が発生した場合は、多元研等BCPに基づき、周囲の構成員に知らせるとともに、緊急電話(119番)で通報する。その後所内(総務係、警備員室)へ連絡する。
〔昼間〕 総務課総務係:022-217-5204
〔休日・夜間〕 素材棟警備員室:022-217-5209
 科研棟警備員室:022-217-5339
 反応棟警備員室:022-217-5105
- (3) 災害対策本部が設置された場合は、必ずその指示に従い、構成員は、災害対策本部(休日・夜間時、通勤・通学途上は指揮者)の指示があるまで、指定避難場所に待機すること。

・強い地震があった場合の行動※

<p>1. 個人 学生には、研究科等所属の者も含む</p>	<ul style="list-style-type: none">・強い地震が発生した場合は、先ず身の安全を確保する(頭を守る)・ガスの元栓の閉鎖、電源の遮断等を行う・地震の揺れが収まったら、避難誘導に従って直ちに建物ごとに指定された避難場所(図参照)に避難し、研究室等責任者に所在を報告する・留学生・外国人研究者・外来来訪者などへは声掛けして一緒に避難する・避難する際は、可能な限り周辺の現状を把握し、研究室等責任者に報告する・ヘルメットを着用する、エレベータは使用しない・負傷者等がいる場合は他の人と協力して救護に当たる・火災が発生した場合は、消防署へ通報すると同時に他の人と協力して初期消火にあたる・初期消火を行っても鎮火しない場合は避難し消防車の到着を待つ・人数確認、重要事項の伝達等があるため、研究室単位等でまとまって待機する・本部長から、避難解除の連絡があるまで避難場所を離れない
<p>2. 研究室等責任者</p>	<ul style="list-style-type: none">・研究室構成員に避難(避難経路)の指示をする・留学生・外国人研究者・外来来訪者などへは声掛けして一緒に避難する・重要事項の伝達がある場合があるため、避難場所では研究室単位でまとまって待機させる・避難場所責任者「正」「副」が不在の際は、代行する場合がある。・研究室構成員の安否を確認し第一報を避難場所責任者に連絡する また、学部・研究科所属学生の安否について、当該部局に連絡する・周辺の機器、物品の転倒等を確認する・負傷者等がいる場合は協力して救護に当たる・火災が発生した場合は、他の研究室等に消火の応援を求める・第一報報告後、安否不明者がある場合は、電話、電子メール、東北大学安否確認システム等、あらゆる手段を使って安否を確認し、「通報連絡・安否確認班」に報告する・薬品・高圧ガス漏れ、その他危険物等事故に対応する・二次災害防止に努める・本部長から避難解除の指示があった場合、安全確保に注意させつつ、研究室員を帰宅させる。・本部長から建物への入室の許可があった場合は設備・備品の点検を行い「設備被害状況連絡票」を作成し、「建物・設備・備品対策班」に提出する

※強い地震の程度

・東北大学の災害対策本部では、仙台市震度6弱以上の場合、災害対策本部が設置される。仙台市震度5強以下の場合、総長が必要と判断した場合に設置する。多元研等事業場も同様に定めている。

※震度は、行政区（青葉区、太白区など）にかかわらず、仙台市の最大震度とする。

災害時の役割

係	構成員	役割
通報連絡係	研究室等責任者 教授	<ul style="list-style-type: none"> 研究室等構成員の安否を確認し、避難場所責任者に報告する 災害発生に係る各種の情報を収集し、避難場所責任者に報告する
避難誘導・救護係	准教授・講師	<ul style="list-style-type: none"> 地震の揺れが収まったら建物から避難場所へ誘導する 負傷者等がある場合は救護に当たる エレベータに閉じ込められた人がいる場合は救助する 消防署救急隊との連携をとる
初期消火係	助教 技術職員 MaSC支援室員	<ul style="list-style-type: none"> 研究室等責任者の要請等に応じ、現場に急行し初期消火に努める 初期消火を行っても鎮火しない場合は、避難し消防車の到着を待つ
危険物対策係	助教 技術職員 MaSC支援室員	<ul style="list-style-type: none"> 研究室等責任者の要請等に応じ、現場に急行し対応する 薬品や高圧ガス等危険物の被害があった場合、研究室等責任者と共同し対応する

表1 参集体制

参集対象者	第1次参集体制 (震度5弱)	第2次参集体制 (震度5強)	第3次参集体制 (震度6弱以上)
多元研所長、副所長、所長補佐、事務部長 (総務課長、経理課長)	○	○	○
SRIS長またはSRIS副センター長、MaSC長 またはMaSC副センター長、技術室長、災害 対策本部各班班長		○	○
避難場所責任者 その他の構成員 教職員 その他の構成員 学生			表2参照

表2 構成員の対応

	平日勤務時間中	休日・夜間	通勤・通学途中
研究室等責任者	避難場所へ避難。研究室員を誘導・研究室員の安否の把握	出勤可能な場合は出勤する	
その他の教職員	難場所へ避難。研究室等責任者を補助し、避難誘導・救護等を行う		
学生	避難場所へ避難。(安否確認に回答)	自宅待機、安否確認システムに回答、かつ、可能な方法で研究室等責任者にも安否を連絡	帰宅する。安否確認システムに回答、かつ、可能な方法で研究室等責任者にも安否を連絡

避難場所

多元研等事業場 災害対策本部設置場所

事務部棟2階大会議室(022-217-5664) 又は 事務部棟前

【代替場所】

南総合研究棟2(材料・物性総合研究棟I号館)1階大会議室(内線3291)



避難場所の目印

災害対策本部代替設置場所

災害対策本部設置場所

●	避難場所①	科学計測研究棟	中庭
	避難場所②	反応化学研究棟	南東側広場
	避難場所③	材料物性総合研究棟	南側広場
	避難場所④	素材工学研究棟	中庭
	避難場所⑤	産学連携先端材料研究開発センター	反応研棟南東側広場
	避難場所⑥	事務部棟	事務部棟前
●	準指定避難場所		本部棟前広場
●	備蓄品・救助用機材保管場所①	材料物性総合研究棟I号館	機械室(1F)
	備蓄品・救助用機材保管場所②	材料物性総合研究棟II号館	事務室(1F)
	備蓄品・救助用機材保管場所③	事務部棟	車庫
	備蓄品・救助用機材保管場所④	産学連携先端材料研究開発センター	A階段下/各階ラウンジ



日本語

English

・安否確認システム、安否連絡

大きな地震があった際は、安否確認システムに回答するとともに、出張等の場合、安否と自身の居場所を研究室等責任者に連絡すること。また、研究室等責任者等の大学からの安否連絡にただちに回答すること。

日本語説明 <https://bit.ly/3GYVQEK>英語説明(PDF) English version <https://bit.ly/3VGzdcR>**緊急連絡先一覧表**

機関名	電話番号	連絡事由
仙台中央警察署	022-222-7171 若しくは110	被害状況の報告(人、建物、事業場周辺の道路状況)
仙台市消防局	022-234-1111 若しくは119	火災発生、救急車・消防車出動要請、危険物による人身事故発生(高圧ガスによる人身事故発生も含む)
仙台市消防局片平出張所	022-225-1050	火災発生、救急車・消防車出動要請
東北電力(株)	0120-175-366	電気(停電、漏電等)
仙台市ガス局	022-292-6663 0800-800-8977	ガス漏れ受付専用ダイヤル(24h) お客さまセンター平日 土曜日
仙台市水道局	022-748-1111 022-304-3299	水道局コールセンター 水道修繕受付センター(漏水、修繕など)
仙台市建設局水質管理センター	022-226-5432	下水道
仙台市廃棄物管理課	022-214-8226	ごみ収集、被災ごみ収集、し尿処理
仙台市道路維持課	022-214-8381	一般道路の状況
JR東日本	0180-992-992	仙台地区の列車運転状況
仙台市交通局	022-224-5111	市営地下鉄及び市営バスの運行状況
宮城交通(株)	022-771-5310	宮城交通バスの運行状況
仙台市保健所(健康安全課)	022-214-8029	毒物劇物による人身事故、環境衛生上の事故発生
仙台市環境局(総務課)	022-214-8214	毒物劇物の漏洩による水質汚染等発生
東北大学人事企画部人事労務課	022-217-6017	放射性同位元素、核燃料物質による事故発生
東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	022-795-7800	
仙台市健康安全課	022-214-8052	医療機関の被害状況
東北大学保健管理センター	022-795-7829	負傷者の受入確認、搬送先
東北大学病院	022-717-7000 (夜間・休日) 022-717-7024	同上
JR仙台病院	022-266-9671	同上
仙台市立病院	022-308-7111	同上
仙台赤十字病院	022-243-1111	同上
イムス明理会仙台総合病院	022-268-3150	同上 (旧 仙台通信病院)
東北公済病院	022-227-2211	同上
労働者健康安全機構 東北労災病院	022-275-1111	同上
仙台厚生病院	022-222-6181	同上

業務継続計画 (BCP: Business Continuity Plan) とは:

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン(供給網)の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、又は中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のこと。

多元研等においては、従来の災害発生時の対応計画を包含して計画・運用することが可能かつ合理的との判断から、防災・業務継続計画としている。